

リフネ、エゾゴマナ、ヒメヘビイチゴ、セリ、ヨシなどがみられ、草花が多い特徴がある。この熊の沢公園の林内には踏み分け道が1本ある程度であり、芝生に近い北側の小沢などは子供たちが踏み荒した裸地のところがある。ここは、かえってもう少し歩道を整備してそれ以外は守るという利用が良いように思われる。

4. 下野幌高台公園（厚別東）

もみじ台団地の北側、12号線に至る間の小野幌団地の中心に小沢の源頭部分に取り残された小規模な森林がある。現在はオノエヤナギ、ガマ、スギナ、ミゾソバなどが生える凹地に面して、ミズナラ、コナラ、ヤマモミジ、アカイタヤ、ハウチワカエデ、シナノキ、ホオノキ、サワシバ、アズキナンなどが混生する林が取り巻いている。林床ではクマイザサの被り度合いが小さく、チゴユリ、ミヤマエンレイソウ、ツクパネソウ、ユキザサなどの草花やツシガシラなどのシダ類が豊富にある。小面積であるにもかかわらず、比較的種類の多い林である。子供達の探検地となり、踏み分け道が適当についた子供達が自ら入りうる大きさの林である。今まで述べた住宅地にこの程度の林も多く残されてあればと思う。

以上、身近な自然の植生概況を簡単に述べたが、それぞれ2、3時間あればゆっくりと植物を観ることができる自然公園なので、自然教育の場として適当な規模である。また、これらの森林は、野幌森林公園の自然林と大谷地のコナラ保護林をつなぐ位置にあり、断片的であろうとも、貴重な自然なのである。



ホオズキ 

Physalis arborescens v. *franchetii*. OCT. 1989

数年前から木の実と野鳥の関係を調べていたが、今年から、エゾリスやシマリスなどのリス類と木の実の関係も整理しはじめた。まだ中間報告的ではあるが、検討結果を書きたいと思う。目的は、自分の好きな樹木と動物達の関わりを少しでも知りたいためと、それらの動物達とより多く接する場所づくりへの提案ができればと言ったところからである。

表にしたように、野鳥と樹木（木の実）の関係は多用であり、鳥達は結論からいうと、いろいろな木の実（種子）を食べている。

リスの場合は野鳥と同じであるが、木の実に対しての依存度はかなり高いと思われる。エゾリスの場合、主食となるのは、チョウセンゴヨウの種子や表には記載しなかったオニグルミ、ミズナラ、コナラ、カシワなどの種子（ドングリ）などであり、シマリスの場合はハイマツの種子や前記したドングリ類である。

ナッツイーター（木の実食）であるリス類も、実のない季節は花芽、樹液、キノコ、昆虫類や小鳥のヒナ、タマゴなどを食べている。

エゾリスの場合はある人の観察によれば、春はカエデ類の花を食べる。6月はハルニレの種子を、7～8月にはカラマツ、トドマツ、キタゴヨウの種子やヤマグワの実、サクラの果実や木につく昆虫の幼虫などを食べる。9～10月になると、オニグルミの実、ドングリ、チョウセンゴヨウやトウヒの種子、オンコ（イチイ）の赤い実をよく食べる。

冬は貯食しておいたドングリ、クルミ、マツの実などと共にトウヒの冬芽を食べたり、カエデ類やシラカンバなどの樹液をなめたりする。

シマリスの場合もエゾリスに似ているが、冬眠するので（正式には地下生活）ドングリなどを食べて冬をすごす。シマリスの場合はキノコは食べないようである。

エゾリスは樹木の上、シマリスは地上と住み分けており、食べ物も若干重複するもののその生活圏も、エゾリスが高山帯を除く平地から山地の

森に生息するのに対して、シマリスはカラマツなどの比較的明るい林や、灌木林などを好み、海岸部からハイマツ帯まで広く生息していると言った違いがある。

表に示したような樹木があることで、野鳥やリス類を誘致できる訳だが樹木の場合成長に時間がかかり、実のなる樹木があれば良いというだけでもないようである。

一言でいえば「多様な環境づくり」が必要である。大木や枯れ木を残すことで、巣や餌を提供できるし、常緑針葉樹（チョウセンゴヨウ、ドイツトウヒなど）はエゾリスの巣、避難場所、餌になる。ドングリのなる木をもっとふやしたい（ミズ

ナラ、コナラ、カツワ、アカナラ等）。基本的には、餌付けは天敵や病気の問題があり、放獣は外来種との混血（入手しやすいのはタイワンリス、チョウセンシマリスなので）の点などがあるので、極力さげたい。あくまでも、今ある自然を残しながら、リス達や野鳥達が住みやすい環境を維持することが必要である。

植物と動物は自然生態系の中で複雑に関わっている。リス達は、貯食することで、森づくりに参加しており、林業家と呼ばれる。野鳥達もその生活の中で同様のことを行っている。フィールドを歩いていると様々な彼等の「忘れ物」がみられるかも？

木の実と野鳥、リス

科名	樹種名	結実期	鳥種名	リス類										
ま	つ トドマツ・エゾマツ	9~10月	キクイタダキ、カラ類、シマエナガ、ゴジュウカラ、ギンザンマシコ、イスカ、ミヤマカケス、ホシガラス	○										
	カ ラ マ ツ	9~10月	キクイタダキ、ハシブトガラ、コガラ、シジュウカラ、シマエナガ、カワラヒワ、ベニヒワ、イスカ	○										
	チョウセンゴヨウマツ	9~10月	イスカ、ミヤマカケス	●										
	ハ イ マ ツ	9~10月	アカゲラ、ギンザンマシコ、イスカ、ウソ、シメ、ホシガラス	●										
い	ち	い	イチイ(オンコ)	9~10月	オオアカゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、レンジャク類、アカハラ、ツグミ、シジュウカラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、カワラヒワ、ウソ、イカル、シメ、ミヤケカケス	○								
か	ば	の	き	ハ	ソ	ノ	キ	類	9~10月	カラ類、マヒワ、ベニヒワ、ギンザンマシコ、イスカ、ウソ	○			
	カ	ソ	バ	類	9~10月	ヒガラ、マヒワ、ベニヒワ、ハギマシコ、ウソ	○							
	サ	ワ	シ	バ	・	ア	サ	ダ	9~10月	シマエナガ、ハシブトガラ、シジュウカラ、ウソ、シメ	○			
ぶ	な	ミズナラ・コナラ・カツワ	10月	オシドリ、オオアカゲラ、ゴジュウカラ、ミヤマカケス、ホシガラス	●									
に	り	ハルニレ・オヒョウ	6月	アオバト、カワラヒワ、ウソ	○									
く	わ	ヤマグワ	7~8月	キジバト、アオバト、ヒヨドリ、アカハラ、シロハラ、メジロ、コムクドリ、ムクドリ、スズメ、カラス類	○									
や	ど	り	ぎ	10~12月	ヒヨドリ、レンジャク類、ツグミ、ムクドリ、ミヤマカケス									
も	く	れ	ん	ホ	オ	ノ	キ	10月	キジバト、クマガエラ、アカゲラ、オオアカゲラ、ヒヨドリ、ゴジュウカラ、ミヤマカケス、ホシガラス					
				キ	タ	コ	ブ	シ	10月	アオバト、ヒヨドリ、ツグミ、イカル、ミヤマカケス、カラス類				
ま	た	た	び	サルナシ・マタタビ	9~10月	コゲラ、ヒヨドリ、シロハラ、キクイタダキ、ハシブトガラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、ミヤマカケス	○							
ゆ	きの	した	ツルアジサイ・イワガラミ	10月	ハシブトガラ、シジュウカラ、ウソ、シメ									
ば	ら	エ	ゾ	ノ	コ	リ	ン	ゴ	・	ズ	ミ	9~10月	アオバト、ヒヨドリ、レンジャク類、シジュウカラ、アオジ、ベニマシコ、ウソ、シメ	
		エ	ゾ	ヤ	マ	ザ	ク	ラ	7~8月	キジバト、アオバト、ヒヨドリ、トラツグミ、クロツグミ、アカハラ、イカル、コムクドリ、ムクドリ、ミヤマカケス、カラス類	○			
		エ	ゾ	イチ	ゴ	(木イチゴ類)	8~9月	コマドリ、ノゴマ、アオジ、ミヤマカケス	○					
		ハ	マ	ナ	ス	8~10月	ヒヨドリ、カワラヒワ、ギンザンマシコ、ウソ、スズメ							
		ア	ズ	キ	ナ	シ	9~10月	ヒヨドリ、レンジャク類、ツグミ、アトリ、イカル、シメ						

科名	樹種名	結実期	鳥種名	リス類
	ナナカマド	9~10月	ヒヨドリ、レンジャク類、アカハラ、ツグミ、アトリ、カワラヒワ、ハギマシコ、ギンザンマシコ、イカル、シメ、ムクドリ	
まめ	エゾヤマハギ	10月	コウライキジ、キジバト、カシラダカ、ハギマシコ、ウン	
みかん	キハダ	9~10月	クマガラ、アカゲラ、オオアカゲラ、ヒヨドリ、レンジャク類、シロハラ、ツグミ、キクイタダキ、ゴジュウカラ、シメ、カラス類	
	サンショウ	10~11月	キジバト、ヒヨドリ、キビタキ、コムドリ、カラス類	
うるし	ツタウルシ	9~10月	キジバト、ヤマゲラ、アカゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、ツグミ、カラス類	
	ヌルデ・ヤマウルシ	9~10月	キジバト、ヤマゲラ、ツグミ	
にしきぎ	オニツルウメモドキ	10~11月	コウライキジ、キジバト、ヒヨドリ、レンジャク類、ツグミ、ウン、シメ、カラス類	
	ニシギギ	10月	キジバト、ヒヨドリ、レンジャク類、ツグミ、カラス類	
	ツルマサキ	10月	キジバト、コガラ、ツグミ、シジュウカラ、ムクドリ	
	マユミ・ツリバナ	9~10月	ヒヨドリ、ツグミ、メジロ、シメ	
ぶどう	ヤマブドウ・ノブドウ	9~10月	エンライチョウ、ヒヨドリ、ツグミ、ムクドリ、ミヤマカケス	○
みずき	ミズキ	10~11月	キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、ツグミ、アトリ、コムドリ、ムクドリ、カラス類	
うこぎ	タラノキ・ハリギリ	10~11月	キジバト、クマガラ、アカゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、コマドリ、シロハラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、ベニマシコ	○
もくせい	イボタノキ	9~10月	ヒヨドリ、ツグミ、スズメ	
すいかざら	エゾニワトコ	8~9月	キジバト、アオバト、アカゲラ、コゲラ、カリガラス、カヤクグリ、ノボマ、ルリビタキ、マミジロ、シロハラ、ウグイス、キビタキ、エンビタキ、コサメビタキ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、クロジ、ミヤマカケス、カラス類	
	カンボク・カマズミ類	8~9月	キジバト、ヒヨドリ、レンジャク類、ツグミ、ミヤマカケス	

※カラ類はハシブトガラ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラを示す。

レンジャク類はキレンジャク、ヒレンジャクを示す。

カラス類はハシボソガラス、ハシブトガラスを示す。

●はリス類が特によく食べる種類を示す。

参考資料：新版 北海道の野鳥（北海道新聞）
 北海道の樹木（北海道新聞社）
 植物目録 1987（環境庁自然保護局編）
 北国の木の実（果実）と野鳥（五十嵐 博）
 滝野すずらん丘陵公園環境調査報告書（昭和62年3月）
 リス（自由国民社）
 シマリスの四季（知床博物館協力会）ほか



ウグイスの子育

尾山宏子